

平成26年度 後半学校評価アンケート結果より



京都市立祥栄小学校 平成27年2月24日
校長 斉木 光子 TEL075-681-1556
http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/syouei-s/



<学校評価の実施について>

『学校評価アンケート』ご協力ありがとうございました。平成26年度 後期学校評価の結果を報告いたします。

日々の学校教育活動を振り返り、子どもたちの成長が学校教育目標に表す子どもの姿としてどれほど実現されているか、学校評価アンケートから検証し、改善・充実を図るために学校評価を活用していくため実施しています。7月に行いました前期学校評価アンケート結果からの改善・充実も含め、取り組んできたことを後期学校評価アンケートで検証し、今後、さらに改善・充実を図った活動や取組につなげていきます。また、学校・家庭・地域の具体的な協力・さらなる連携と共に、それぞれが教育力を発揮して子どもたちの成長を支援し、子どもたちがよりよい学校生活を送るため、教育の充実・発展を目指してまいります。

<平成26年度 2月実施>

質問項目	保護者・学校運営協議会			教職員			
	重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度	
確かな学力	子どもは、学習がよくわかっている。	6.4	4.5	<u>24.1</u>	6.9	5.8	15.2
	子どもは、学習のルール(姿勢、学習準備、発言や話の聞き方等)を守りふさわしい態度で授業を受けている。	6.8	4.4	<u>26.9</u>	6.9	5.9	15.1
	子どもは、課題を解決するために、自分で考え行動している。	6.0	5.4	15.6	6.9	4.2	<u>31.7</u>
	子どもは、学年×10分の家庭学習の習慣が身につけている。	5.9	3.8	<u>27.2</u>	6.8	4.4	<u>26.8</u>
	100冊読書をめざし、子どもに読書の習慣が身につくよう声かけ等をしている。	5.5	4.0	23.7	6.8	5.8	9.3
	学習効果を上げるため、教師は指導法の改善や工夫をしている。	6.7	4.1	<u>29.3</u>	6.8	5.2	16.9
豊かな心・健やかな体	子どもは、安全に楽しく学校に通っている。	6.5	5.1	16.6	7	6.0	9.2
	子どもは、あたたかい仲間意識を持ち、思いやりや親切にする心を、大切にしている。	6.7	5.7	14.2	7	6.3	6.6
	子どもは、相手や時、場を考えて正しい言葉づかいができる。	6.7	4.8	<u>27.3</u>	7	4.2	<u>32.1</u>
	子どもは「おはよう」などあいさつや「ありがとう」の感謝の言葉を、進んで言っている。	6.7	4.7	<u>26.8</u>	7	4.8	<u>27.8</u>
	子どもは、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣を身につけている	6.7	5.5	19.4	7	5.7	18.3
	学校は、子どもの人権を大切にされた教育活動を行っている。	6.2	5.5	17.8	7	4.9	21.1
学校・家庭・地域	ルールやマナーを守ろうとする規範意識が育っている。	6.7	5.1	17.1	7	4.3	<u>26.3</u>
	学校は、学校だよりやホームページで学校の様子をわかりやすく伝えている。	6.2	5.3	16.8	6.6	5.4	19.8
	学校は、家庭・地域・と連携し「地域総ぐるみ」の教育を推進している	6.2	5.9	15.6	6.8	5.8	17.2
	子どもを地域行事やPTA行事に参加させている。	5.7	4.9	20.9	6.4	4.9	23.8
	保護者は、学校行事(参観・懇談等)に参加している。	6.1	5.8	13.7	6.7	4.9	22.7
PTA活動が積極的に行われている。	5.2	4.9	20.3	6.3	5.2	17.2	
教職員は、地域行事やPTA活動に積極的に参加している。	5.9	4.9	23.3	6.1	4.3	23.2	

*学校評価アンケートは、保護者・学校運営協議会委員の皆様と教職員にマークシート方式による方法で行いました。回収したアンケート結果は京都市教育委員会が推奨しております分析ソフトにて分析を行いました。アンケート実施において「学校教育活動全般について取り組むべき課題を明らかにする」ため、各質問項目の回答は、「重要度」「実現度」の二軸としました。指数は、「7.0」を上限としています。また、ニーズ度の指数が高いほど、「重要度」の高さと「実現度」の格差が大きいといえます。

確かな学力

多くの質問に対して、前期に比べ「重要度」と「実現度」の格差が小さくはなりました。しかしながら、「実現度」の指数と「ニーズ度」の割合及び保護者と教職員の結果の異なりから、授業1時間ごとに徹底した授業改善を行うことに課題がある。どの学年・学級においても、一人一人の子どもが学習ルールを守り、主体的で頑張りを実感できるわかりやすい授業の実現・充実に学校としてさらに努めねばなりません。

特に、子どもの言語活動を重視し、子どもの考えを交流し学びあえる授業(話し合い活動、考え・根拠・理由をもとにした発表等)の実施と、朝読書・昼の学習タイム等、年間を通して全学年徹底的にやりきることにさらに努め、子どもたちの力を伸ばすことに努めねばならないと考えます。また、どの授業でもノートの活用を効果的に進め、書く力、考える力の育成に努めていきます。今後も教員はさらなる指導法の改善を図り、「できた」実感や「分かる」楽しさを味わえる授業構築に取り組んでいきます。

アンケートのご意見に「子どもの力をさらに高める学習や経験の実施」を求める声もありました。読書と家庭学習の習慣を身につけ、主体的に学習する子どもをめざして家庭と学校がさらに、子どもにつけるべき力とその取組について話しあいながら進めていきたいと考えます。

豊かな心・健やかな体

「実現度」が、7つの設問のうち、6つの項目の指数が上昇しました。特に「生活習慣を身につけている」「子どもはあたたかななかま意識を持ち、思いやりや親切にする心を大切にしている」は、前期より「ニーズ度」の割合が下がり、「重要度」と「実現度」の格差が縮まりました。「自分も相手も大切にする」取組と意識が高まったことを大事にし、さらに「誰もが安心して居心地のよい学校」をめざし取り組んでいきたいと思えます。そのため、「子どもは、相手や時、場を考えて正しい言葉づかいができる。」「『おはよう』など挨拶や『ありがとう』の感謝の言葉を、進んで言っている。」が重要課題であり、改めて全校で意識してタイムリーかつ継続して指導に努めます。

「見守り当番の時に子どもたちの挨拶が少ない」「まずは教職員・親が大人として適切な言葉づかいをしたい」というご意見もありました。「挨拶を交わすこと」「適切な言葉で伝えること」が、人間関係をよりよく深め居心地のよい学校・学級につながります。まずは改めて適切な言葉で授業を行い、全ての学校生活で教職員が行動で示し指導することに努めていきます。

学校・家庭・地域

前期と後期の大きな指数の違いはなく、わずかですが「重要度」「実現度」の指数の上昇がみられました。日々、学校教育への保護者・地域の皆様にご尽力をいただき、多くの皆さんがボランティアや様々な本校の教育進展へのご協力をいただいている結果と考えています。

「子どもの安全が脅かされるニュースなどを聞くと、下校時等に地域の方にも子どもたちの安全見守りの取組の協力をいただけないか。」といったご意見や、「ホームページの更新を望む」お声、また、「時間枠を広げたフリー参観」の要望もありました。保護者や地域の皆様により子どもたちの学校生活を見て知っていただく機会として参観授業・懇談会の工夫とお便りやホームページの活用さらに努め、祥栄学区の子どもたちのため、学校運営協議会にもさらに協力要請をし、家庭・地域・学校のより確かな連携に努めていきます。保護者の皆様には、日々ご多忙でしょうが、参観授業・懇談会にさらにご出席いただき、保護者と学校が共通理解のもと互いに協力し合い、子どもに関わっていただきたいと考えます。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
『子どもを共に育む京都市民憲章』を实践しましょう!

